

『平成17年度施策実施状況調書』

施策名		国際放送の推進				担当部局名	情報通信政策局 衛星放送課		
上位政策との関係(上位政策目標への貢献)		我が国に対する正しい認識を培い、及び普及すること等によって国際親善の増進及び外国との経済交流の発展に資するとともに、在外邦人が国際放送の効用を享受できることを目的としており、国家として推進することが必要である。							
主な指標の状況		主な指標等		目標値	目標年度	14年度	15年度	16年度	
		国際放送の実施状況		毎月、把握する	毎年度	把握実施済み	把握実施済み	把握実施済み	
施策の主な実施手段の状況	予算執行を主とするもの	事業名	概要			14年度	15年度	16年度	
		国際放送の実施	聴取状況等を踏まえた放送番組の充実と普及を図った。			1,973百万円	1,973百万円	2,273百万円	
		放送番組の外国語改編への支援	国際番組ライブラリーの充実を図った。			65百万円	57百万円	51百万円	
	制度の企画・運用を主とするもの	項目	概要						
	情報提供等を主とするもの、その他	項目	概要						
	本施策に関する課題等の状況		(課題等の状況) 国際放送の実施については、今後も、この取組を継続し、国際放送を通じて国際社会における我が国に対する理解を深めかつ広めるとともに、在外邦人の期待に応えるため、国際放送の視聴状況の把握に努めるなどしながら、国際放送の実施を推進することが必要である。放送番組の外国語改編への支援については、今後も、この取組を継続し、開発途上国の番組に対する要望、反響に応えることが重要である。そのためには需要の的確な把握、分析、そして、開発途上国に対する周知・広報活動に努めるなどしながら、本件支援を実施することが必要である。					予	制
本施策に関する専門家の意見等		電波監理審議会において、毎年度末、日本放送協会に対する次年度の国際放送の実施命令を適当と認める旨の答申を受けており、国際放送の実施については、本政策の現状認識等について、この答申結果を参考とした。							
本施策に関する主な資料		日本放送協会の業務報告書等 財団法人放送番組国際交流センターの業務報告書等							